

故事成語テスト①【意味えらび】

故事成語の意味を、4つの中から選ぼう

なまえ _____

ひづけ _____

故事成語の意味として正しいものを、ア～エから一つずつ選びましょう。

選んだ記号を、左の□に書きましょう。

(1) 「塞翁が馬」の意味はどれですか？

ア 一度の失敗で全てを諦めてはいけない

ウ 遠くへ行くほど良い経験ができる

イ 馬に乗る時は慎重に行動すべきだ

エ 人生の幸・不幸は予測できず、変化しやすいものだ

(2) 「圧巻」の意味はどれですか？

ア 初めに読む人を引きつけるための、導入の部分

ウ 長い文章や話の最後に置かれる、結びの部分

イ 全体の中で、最もすぐれた部分

エ 全体の中で、最も目立たず評価の低い部分

(3) 「怒髪天を衝く」の意味はどれですか？

ア 思いが強すぎて、周りが見えなくなっているようすのたとえ

ウ 非常に高い地位にのぼりつめたようすのたとえ

イ 恐ろしさのあまり、かみの毛が白くなるようすのたとえ

エ 激怒しているようすのたとえ

(4) 「人事を尽くして天命を待つ」の意味はどれですか？

ア 運命を信じて、努力をせずに待つこと

ウ 自分ができる限りの努力をした上で、あとは運命に任せること

イ 神様に願いをすれば、努力しなくても成功すること

エ 努力をすれば、必ず自分の思い通りになること

(5) 「断腸の思い」の意味はどれですか？

ア 長い間待ち望んだことがかなって、心が満たされる思い

ウ はらわたがちぎれるほどの、悲しくいたましい思い

イ 思い切った決断をして、きっぱり未練を断ち切る思い

エ 怒りをおさえきれず、腹が立ってたまらないという思い

(6) 「登竜門」の意味はどれですか？

ア 努力をしなくても、運よく高い地位を手に入れること

ウ 高い地位にある人にこびて、引き立ててもらおうとすること

イ そこを突破すれば出世につながる、難しい関門のたとえ

エ 苦しい立場に追い込まれても、最後まであきらめないこと

(7) 「烏合の衆」の意味はどれですか？

ア 高いところざしをもって、各地から集まった優れた人材のこと

ウ 何度負けても、あきらめずに立ち向かってくる粘り強い人々のこと

イ 規律も統一もなく、ただ寄り集まっているだけの人々のたとえ

エ 少人数でも、たがいに強く結びついて行動する精鋭の集団のこと



故事成語テスト③【もとの話えらび】

なまえ _____

もとなった話を、4つの中から選ぼう

ひづけ _____

故事成語のもとなった話を、ア～エから一つずつ選びましょう。

選んだ記号を左の□に書きましょう。長い文なので、最後まで読んでから選びましょう。

(1) 「汗馬の労」のもとなった話はどれですか？

- ア 晋の文公が、亡命に従った家臣への褒美の基準を、仁義や人徳の者を第一、戦場で駆け回った者をその次と答えた話
- イ 蘇武が、匈奴に捕らえられても節を曲げず、十九年のあいだ北の地で雪と氷の中、羊を飼って耐え抜いた話
- ウ 司馬遷が、皇帝の怒りに触れて死刑を宣告されながら、史記を完成させるために死刑でなく宮刑を選んだ話
- エ 趙の藺相如が、秦王の前で宝石を手にして柱を背に立ち、怒りで髪が冠を突き上げるほどの気迫を見せて守り抜いた話

(2) 「助長」のもとなった話はどれですか？

- ア 楚の国の商人が、どんな盾も突き通す矛とどんな矛も防ぐ盾を売り、客の問いに答えられなくなった話
- イ シギとハマグリが争っているうちに、通りかかった漁師にまとめて捕まえられてしまった話
- ウ 宋の国の人々が、苗の伸びが遅いのを心配して引っ張って伸ばしたところ、苗が枯れてしまった話
- エ 杞の国の人々が、天が落ちてくるのではないかと心配して、食事や眠ることもできなくなった話

(3) 「臍をかむ」のもとなった話はどれですか？

- ア シギとハマグリが争っているうちに、通りかかった漁師が両方とも捕らえてしまった話
- イ 鄧の君主が家臣の進言を聞かずに楚の王をもてなし、のち鄧が楚に滅ぼされた話
- ウ 賈島が、詩の一字を「推す」にするか「敲く」にするかで迷い、韓愈に相談した話
- エ 楚の商人が、どんな盾も突き通す矛と、どんな矛も防ぐ盾を売ろうとした話

(4) 「鶏口となるとも牛後となるなかれ」のもとなった話はどれですか？

- ア 西晋の左思が十年かけて書いた作品が評判になり、人々が競って書き写した話
- イ 戦国時代、蘇秦が韓王に、大国の秦に従うより小国の長となるほうがよいと説いた話
- ウ 孟子の母が、学問を途中でやめて帰った子の前で、織りかけの布を断ち切ってさとした話
- エ 後漢の陳寔が、天井裏にかくれた泥棒に気づき、子どもたちへの説教にこよせてさとした話

(5) 「苦肉の策」のもとなった話はどれですか？

- ア 宋の農夫が、畑の苗を早く育てようとして一本ずつ引っ張り上げ、すべて枯らしてしまった話
- イ 漢の韓信が、まだ無名だった若いころ、町の若者にからまれ、悔しさをこらえてその股の下をくぐった話
- ウ 赤壁の戦いで、周瑜に打たれた黄蓋が、恨んで寝返るふりをして曹操軍に近づき、船に火を放った話
- エ 楚の項羽が、漢軍に城を囲まれた夜、四方から楚の歌が聞こえて故郷の者もみな敵に下ったかと驚いた話



故事成語テスト①【意味えらび】【こたえ】

故事成語の意味を、4つの中から選ぼう

なまえ _____

ひづけ _____

故事成語の意味として正しいものを、ア～エから一つずつ選びましょう。

選んだ記号を、左の□に書きましょう。

(1) 「塞翁が馬」

エ

「塞翁が馬」は「人生の幸・不幸は予測できず、変化しやすいものだ」という意味です。

(2) 「圧巻」

イ

「圧巻」は「全体の中で、最もすぐれた部分」という意味です。もとは中国で、詩文や絵画の書物の中で最もすぐれているものを指したことです。

(3) 「怒髪天を衝く」

エ

「怒髪天を衝く」は「激怒しているようすのたとえ」という意味です。『史記』の蘭相如伝にある、怒りで髪が冠を突き上げたという話がもとです。

(4) 「人事を尽くして天命を待つ」

ウ

「人事を尽くして天命を待つ」は「自分ができる限りの努力をした上で、あとは運命に任せること」という意味です。

(5) 「断腸の思い」

ウ

「断腸の思い」は「はらわたがちぎれるほどの、悲しくいたましい思い」という意味です。『世説新語』にある、子猿を奪われた母猿が死んで、その腸が細かく断ち切れていたという話が出典です。

(6) 「登竜門」

イ

「登竜門」は「そこを突破すれば出世につながる、難しい関門のたとえ」という意味です。『後漢書』の李膺伝に出てくる、黄河の急流「竜門」を登りきった鯉は竜になるという言い伝えにちなんだ話から生まれました。

(7) 「烏合の衆」

イ

「烏合の衆」は「規律も統一もなく、ただ寄り集まっているだけの人々のたとえ」という意味です。『後漢書』に見られる、カラスの群れにたとえた表現から生まれたことです。

おうちの方へ

丸つけ: 記号が合っていれば○です。I 問ずつ、解説を声に出して読ませてから次へ進むと、意味が頭に残ります。

声かけ: まちがえたときは「どれと迷った?」と聞いてみてください。漢字の字づらから意味を想像して選んでいないか分かります。

つづき: 意味ともともになった話は、いちごドリルの「故事成語一覧」でも調べられます。②～⑤では、同じ語を書いたり、もとの話から選んだりします。

故事成語テスト③【もとの話えらび】【こたえ】

もともになった話を、4つの中から選ぼう

なまえ _____

ひづけ _____

故事成語のもともになった話を、ア～エから一つずつ選びましょう。

選んだ記号を左の□に書きましょう。長い文なので、最後まで読んでから選びましょう。

(1) 「汗馬の労」

「汗馬の労」は、晋の文公が亡命に従った家臣への褒美の基準を問われ、仁義や人徳で貢献した者を第一、戦場で馬に汗をかかせて駆け回った者をその次と答えた話（『史記』晋世家）から生まれたことばです。意味は「戦場で活躍した功績。転じて、物事をまとめようとして、かけずりまわってする苦労」です。

ア

(2) 「助長」

「助長」は、宋の国の人々が、苗の伸びが遅いのを心配して引っ張って伸ばしたところ、苗が枯れてしまったという話から生まれたことばです。意味は「成長させようと無理に手助けをして、かえって害を与えること」です。

ウ

(3) 「臍をかむ」

「臍をかむ」は、鄧の君主が家臣の進言を聞かずに楚の王をもてなし、のち鄧が楚に滅ぼされたという話から生まれたことばです。意味は「もう終わったことについて後悔すること」です。

イ

(4) 「鶏口となるとも牛後となるなかれ」

「鶏口となるとも牛後となるなかれ」は、戦国時代、蘇秦が秦への対抗同盟に消極的だった韓王を説得したときのことばから生まれたことばです。意味は「大きな集団の末端にいるより、小さな集団でトップに立つほうがよい」です。

イ

(5) 「苦肉の策」

「苦肉の策」は、『三国志演義』の赤壁の戦いで、呉の周瑜に打ち据えられた黄蓋が、恨んで曹操軍に寝返るふりをして近づき、火を放って船を焼き払ったという話から生まれたことばです。意味は「苦しまぎれに考え出した方策」です。

ウ

おうちの方へ

丸つけ: 記号が合っていれば○です。答え面の解説は、その話から生まれたことばの意味の説明も兼ねています。

声かけ: 「だれが、何をした話か」を一言で言わせてから選ばせると、似た登場人物の別の話と取りちがえにくくなります。

つづき: 意味ともともになった話は、いちごドリルの「故事成語一覧」でも調べられます。